

校長	教頭	教頭

科目名	選択／美術□		教科名	芸術
学年	1 学年	単位数	2 単位	担当者氏名
				印

### 1、科目「美術 I」について

学習の到達目標	美術の幅広い創作活動を等して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力をのばし、美術文化についての理解を深める。
使用教科書	高校生の美術 I（日本文教出版）

### 2、科目全体の評価の観点の趣旨

1、美術への関心・意欲・態度	2、発想や構想の能力	3、創造的な技能	4、鑑賞の能力
美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫して表している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習、制作態度</li> <li>・学習活動への参加の状況</li> <li>・提出物</li> <li>・定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制作の初めや途中のアイデアスケッチや試作品</li> <li>・ワークシートの内容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制作した作品</li> <li>・ワークシートの内容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒相互の評価</li> <li>・自己評価</li> <li>・発表内容</li> </ul>

※1 年間の評定は、1～3 学期の年間を通じて、上記内容を総合的に判断して行う。

### 3、各学期及び学年の評価方法

各学期及び学年はシラバスで記載する。また、5段階評価においては以下の通り。

評価方法	100点法	5段階評価
十分に理解できると判断されるもののうちで、特に高い程度のもの	80 ～ 100	5
十分に理解できると判断されるもの	65 ～ 79	4
おおむね満足できると判断されるもの	50 ～ 64	3
努力を要すると判断されるもの	35 ～ 49	2
努力を要すると判断されるもののうちで、特に程度の低いもの	0 ～ 34	1

### 4、授業方法・形態

講義・実技（作品制作）・鑑賞を中心とする。教科書を用いながら、適宜、副教材などを取り入れる。

### 5、学習の留意点

- ・技術的な面において上手であるよりも、自己の世界を意欲的に表現しようと追求し続ける姿勢が大切である。
- ・授業で使用する道具の準備・後片付けは基本的な生活習慣であり、大切なマナーであるという意識を持って取り組むこと。
- ・各課題の完成度を高め、未提出作品がないように留意すること。

6、学習計画と観点別評価規準

学期	領域 分野	題材名 [配当時間]	学習のねらい		関	発	創	観
1 学期	鑑賞	美術とはなにか [配当時間：1]	小、中の図工・美術の学習を振り返り、高校の美術 I のイメージを持ち、美術の学びの意味や広がりについて考える。	・学習態度 ・ワークシート	○			○
	表現 絵画	目のつけどころ [配当時間：1]	身近なものを見つめ直し、感じ取ったことや考えたことを元に構想を練って表現する。	・学習、制作態度 ・制作作品 ・ワークシート	○	○	○	○
	表現 デザイン	隠された名前 [配当時間：4]	アクリル絵の具の特性を理解し、デザインの構成や配色の美しさを考える。	・学習、制作態度 ・制作作品 ・生徒の相互評価 ・定期考査	○	○	○	○
	表現 絵画	私の見つけた風景 [配当時間：2]	学校の風景をよく観察して、自分で見つけた場所の魅力や視点や構図、光と影、遠近感の表し方を工夫して、思いを込めて表現する。	・制作態度・制作作品 ・ワークシート ・定期考査	○	○	○	○
	表現 彫刻	抽象彫刻で表す [配当時間：7]	立体で表すことの良さや特性を理解し、感情やイメージなどを象徴する形を考え、抽象彫刻に表現する。	・制作態度・制作作品 ・アイデアスケッチ ・発表内容 ・定期考査	○	○	○	○
	表現 デザイン	イラストレーションの魅力 [配当時間：6]	イラストレーションの特性を理解し、作者の意図や工夫を読み取る。	・制作態度 ・制作作品 ・ワークシート	○	○	○	○
	表現 デザイン	生活を彩る模様 [配当時間：4]	目的と模様が持つ機能や制作方法を学び、目的に合ったデザインをする。	・学習、制作態度 ・アイデアスケッチ ・制作作品	○	○	○	○
2 学期	鑑賞 彫刻	環境を彩る造形 [配当時間：2]	環境の中の彫刻の働きについて理解を深める。	・学習態度・定期考査 ・ワークシート ・発表内容	○			○
	表現 絵画	視点と表し方 [配当時間：4]	心の中のイメージを元に発想を広げ、想像の世界を表す。	・制作態度・制作作品 ・ワークシート	○	○	○	○
	表現 デザイン	デザインを届ける [配当時間：6]	目的と役割を考えて、パッケージをデザインする。	・制作態度・制作作品 ・ワークシート ・定期考査	○	○	○	○
	表現 絵画	版で表す [配当時間：5]	版画による表現の良さや特性を理解し、その効果を生かして表現する。	・制作態度・制作作品 ・定期考査	○	○	○	○
	表現 絵画	絵画のトリック [配当時間：4]	斜視やイメージの重なりなどを生かして不思議な世界を表現する。	・学習、制作態度 ・制作作品	○	○	○	○
	表現 映像 メディア	16歳の夏 [配当時間：3]	表したいイメージなどを元に構図や画面構成などを考えて撮影する。	・学習、制作態度 ・制作作品 ・相互鑑賞 ・定期考査	○	○	○	○
	表現 デザイン	ツールデザイン [配当時間：6]	使う場面や機能、美しさなどを考えてデザインする。	・学習、制作態度 ・制作作品 ・ワークシート	○	○	○	○
3 学期	鑑賞 絵画	光を捉える [配当時間：2]	「光」の描き方や効果について「かげ」に着目して理解を深める。	・学習態度 ・定期考査	○			○
	鑑賞 映像 メディア	アニメーションの手法 [配当時間：2]	形や場面の変化、動きの効果などの特性を理解し、物語や情景などを読み取る。	・学習態度 ・ワークシート ・発表内容 ・定期考査	○			○
	表現 彫刻	学校に住む○○たち [配当時間：5]	空間の中にある彫刻と環境の関わりに関心を持ち、生活の中にある造形作品を表現する。	・制作態度・制作作品 ・ワークシート	○	○	○	○
	鑑賞	これからの私と美術 [配当時間：1]	これからの美術との関わりを考え、「美術とは何か」について一年間の学びと共に振り返る。	・学習態度 ・ワークシート	○			○